

今川医療福祉グループ

会長 今川 美明氏
 社会福祉法人 筑水会 副理事長 今川 武彦氏
 医療法人社団 みなみつくば会 常務理事 今川 美香氏



茨城県つくば市に本社を構える今川医療福祉グループは、設立以来、約50年間、地域の方々の健康を守ることを生業として走り続けました。地元貢献のため、「日本一の調剤薬局企業」から、医療・福祉事業に参入し、令和3年には、「次世代型介護」をコンセプトにした介護付有料老人ホーム「サンシャインつくばリゾート」を開設しました。

今回は、今川会長から同グループの歴史や今後の展望について、熱い想いをお聞かせいただきました。

インタビュー日：令和3年6月2日
 (聞き手：筑波総研(株) 代表取締役社長 野口稔夫)
 (文・写真：筑波総研(株) 主任研究員 富山かなえ)
 取引支店：(株)筑波銀行 谷田部支店

企業概要

本社：茨城県つくば市谷田部6206
 設立：昭和45年4月
 事業内容：特別養護老人ホーム・有料老人ホーム・
 介護老人保健施設・サービス付き高齢者
 向け住宅・大規模デイサービス・グループ
 ホーム・クリニック・調剤薬局などの運営

貴社の歴史や今川会長が歩まれて来られた事業拡大への道のお聞かせください。

江戸末期から続く薬種商の家系に生まれる

今川医療福祉グループの歴史は、文政7年に生まれた私の祖先、今川平蔵が江戸末期から薬種商を営んだことに始まります。その後、私の祖父にあたる今川勇美が「今川薬舗」を継承し、店舗販売と外商に注力していきました。

私は、第二次世界大戦が勃発した昭和14年に生まれました。地元の谷田部町（現つくば市）で育ち、茨城県立水海道第一高等学校を卒業後、家業の薬店を継ぐために、東京薬科大学に入学しました。

一時、医師の道も志しましたが、やはり家業を優先しました。父は私が10歳の時に亡くなったため、卒業後はそのまま家に戻り、昭和36年から家業を手伝いました。また、同年、商号を「今川薬局」に変更しました。



今川医療福祉グループの歴史を語る今川会長

青年部初代部長として海外視察

当時の今川薬局は規模が小さかったため、動物や農作物の薬の販売を中心に行うことで売上を拡大していきました。また、若い頃は、個別訪問営業などを通じて、“商売の原点”を勉強しました。

その後、昭和42年に、商工会が主催する第1回「青年・婦人の船」において、谷田部青年部の初代部長として、茨城県の団長を務めました。

東南アジアの視察を通して、海外での経営手法を直接見聞きしたことや船中で諸先輩方と交流できたことは、その後の経営に大変役立ちました。

今川薬品6代目の代表に就任

昭和45年、今川薬局を今川薬品株式会社に組織変更し、私は取締役役に就任、また、昭和56年には代表取締役役に就任し、江戸末期から続く薬種商の6代目を継承しました。

昭和48年には、調剤薬局の店舗用地確保のため、不動産業を開始しました。また、自動車社会の到来を予測し、昭和52年には、「学園自動車サービスセンター」をオープンしました。現在は、「今川商事株式会社」が同事業を引き継いでいます。

「日本の調剤薬局企業」に成長させる

昭和57年、全国有数のドラッグストアや薬局などが参加する日本最大のボランティア・チェーン「オールジャパンドラッグ」が主催するアメリカのドラッグストア研修に参加し、最新のドラッグストア経営手法を吸収しました。

その頃、昭和60年に開催された国際科学技術博覧会（つくば万博）に代表されるように、昭和47年頃からつくば市では開発が進み、目を見張る速さで街が変化していきました。

当社は、「都会から越してくる新住民」という新たな客層にアプローチする手法として、視察で学んだ経営手法を取り入れ、竹園ショッピングセンターを皮切りに、県内外に出店を続け店舗数45店へと、規模を拡大していきました。



施設内には所々にフクロウの置物が飾ってある

そして、平成14年、さらなる事業拡大を図るため、私は、調剤薬局業界1位である株式会社アインファーマシーズ（本社：札幌市）と対等合併し、当社を「日本の調剤薬局企業」へと成長させることができました。

新たな業界への進出と今川医療福祉グループの各事業内容をお聞かせください。

■ 地元への貢献、医療・福祉分野へ進出

私は「日本一の調剤薬局を作った」という達成感から、「もっと地元に貢献したい」という気持ちが以前より一層強くなりました。

そこで、以前から関心が高かった医療・福祉業界に参入する決意を固めました。現在は、長女で常務理事の今川美香を筆頭に「医療法人社団みなみつくば會（以下、みなみつくば会）」と、副理事長の今川武彦を中心に「社会福祉法人筑水会」を運営しています。

グループ全体では、特別養護老人ホームが2か所、介護付き有料老人ホームが5か所、介護老人保健施設が2か所、サービス付き高齢者向け住宅・大規模デイサービス・グループホームが各1か所、クリニックが2か所となり、ベッド数は約800床、約650人弱の職員を雇用しています。

■ 利用者の「充実した暮らし」をサポート

まず、みなみつくば会の歴史をご説明します。当会は、平成16年11月に設立し、平成18年に介護老人保健施設「プレミエール元気館」、グループホーム「筑水苑」、「みなみつくば会居宅介護支援事業所」「サンシャイン・クリニック」を開設しました。

また、平成20年に「サンシャイン・デイサービス」、翌年には介護付有料老人ホーム「サンシャイン・ヴィラつくば倶楽夢」をオープンしました。

さらに、平成26年にはサービス付高齢者向け住宅「サンシャイン・コンフォートつくば」「コンフォートつくば訪問介護事業所」「コンフォートつくばデイサービス」を開設しました。

その翌年には、介護付有料老人ホーム「サンシャイン・ヴィラ守谷倶楽夢」、さらに翌年には介護老人保健施設「プレミエール元気館 筑西」、居宅介護支援事業所「筑西」を新設しました。

令和元年には「訪問リハビリテーション事業所」、翌年には、つくば市の受託事業である「谷田部東地域包括支援センター」の運営を開始しました。

■ より質の高いサービスと施設を目指して

そして、令和3年3月には、私の集大成である介護付有料老人ホーム「サンシャインつくばリゾート」がつくば市手代木に竣工し、同年5月から事業を開始しました。

サンシャインつくばリゾートは、“次世代型介護”をテーマに、高級ホテルさながらのラグジュアリーな空間が広がる介護付有料老人ホームで、5階建ての建屋には50部屋をご用意しています。

解放感のあるロビーのほか、古民家から移築した囲炉裏や自家源泉の天然温泉、フィットネスやシミュレーションゴルフをお楽しみいただける設備、高級な美術品の数々に囲まれながら贅沢な時間をお過ごしいただける「ラウンジ&アートギャラリー」コーナーなどを設けています。



横山大観の絵画をはじめ、貴重な美術品が飾られた「ラウンジ&アートギャラリー」の様子

全職員は接遇を重んじ、質の高いサービスを心掛けているほか、専門医が考案したクラウド型高齢者見守りシステム「ライフリズムナビ®+Dr」を採用するなど、ICT・IoTを活用した先進的介護と介護職員の負担軽減を図り、新たな介護サービスの在り方を内外に示しています。



約1,000m地下から湧き出している天然温泉薬師の湯(露天風呂)



落ち着いたある部屋のベランダからは、都市と自然が融合した美しい景色が見渡せる

「一日一日を「笑顔で過ごせる」空間づくり

「社会福祉法人筑水会」は、平成15年7月、常総市水海道に社会福祉法人筑水会を設立し、翌年には、特別養護老人ホーム「筑水苑」を開設、短期入所生活介護事業所・通所介護事業所・居宅介護支援事業所「筑水苑」の運営を開始しました。

また、平成22年には、茨城県住宅供給公社が管理していた介護付有料老人ホーム「サンテヌ土浦（現本館）」を競争入札で落札し、翌年には「サンテヌ新館（介護棟）」を開設しました。

さらに、平成28年には「ライフサポート サンルーナ」「サンルーナ小寺内科クリニック」、翌年には特別養護老人ホーム「筑水苑かすみがうら」を開設しました。

「常総水害の早期復旧に向けた使命と行動力

平成27年9月に発生した関東・東北豪雨では、鬼怒川が決壊して常総市の広範囲が水没し、当会が運営する特別養護老人ホーム 筑水苑も大きな被害を受けました。被災した利用者の方々は、水没した施設から自衛隊のゴムボートで救出された後、早急に当グループの別の施設に運び込みました。

その後、施設の早期復旧を目指し、職員総出で泥や砂の掃き出しや清掃、備品の交換などを行い、約1か月後には運営を再開することができました。

国土交通省の役人を含む多くの方々から、復旧の早さに驚かれましたが、私たちの使命である利用者の方々の安全を守ることを最優先した結果であると感じています。

事業拡大を後押しした理念と今後の展望などをお聞かせください。

「一生健康、一生青春、一生感動」

私たち、今川医療福祉グループは、旧今川薬局時代から受け継がれている「安心・安全・快適」の基本理念と「敏速・丁寧・正確・親切・笑顔」の行動指針の下、「目的を明確にして誰が、何を、いつまでに、どのようなやり方で、どれだけのコストか」という6つの原則を実践して参りました。

グループの代表である私や家内、長女も薬剤師の資格を保持しています。昭和45年の設立以来、薬剤師一家として、約50年間、地域の皆様の健康を守ることを生業として走り続けてきました。

昨今、日本で大きな社会問題となっている高齢化という波が押し寄せている中、「私たちは、何ができるのか、何をすべきなのか」という問いに、向き合い続けています。

私は、私や家族を生み育ててくれた茨城、つくば市の皆様に対して、「一生健康、一生青春、一生感動」に満ち溢れた暮らしをご提供することが、私たちの使命であり、1つの答えであると考えています。

今後も地域社会から愛され、必要とされ、信頼される医療福祉グループに成長していくとともに、地域に根差した各種サービスの提供を通じて、県内に住んでいる皆様の暮らしに貢献し、心豊かにより輝く生活ができるようお手伝いして参ります。



今川会長（前列中央）、今川常務理事（前列右）、今川副理事長（前列左）、筑波銀行谷田部支店蓮田支店長（後列左）、聞き手・野口稔夫

この度は、長時間にわたり貴重なお話をお聞かせいただき、誠にありがとうございました。御社の今後益々のご発展をご祈念いたします。